

首都圏新都市鉄道株式会社
代表取締役社長 渡邊 良 様

つくばエクスプレスの
混雑緩和に係る要望書

つくば市

守谷市

柏市

流山市

三郷市

八潮市

足立区

荒川区

台東区

千代田区

つくばみらい市

平素より、つくばエクスプレス沿線のまちづくりに格段のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

つくばエクスプレスは、令和7年（2025年）8月に20周年を迎える、沿線地域の通勤・通学を支える重要な交通基盤として、欠かせない存在となっております。

貴社におかれましては、新型コロナウイルスの影響を乗り越え、令和6年度（2024年度）の決算では、3期連続で最終利益を計上するなど、着実に実績を積み重ねておられることに敬意を表します。

また、これまで沿線自治体が要望してまいりました「通学定期乗車券の運賃引き下げ」の実施や、「車両編成の8両化」に向けたホーム延伸工事の推進にご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。

沿線自治体といたしましても、つくばエクスプレスの利用者増加に向け、より一層、貴社との連携を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続き利便性向上策の促進をお願い申し上げます。

つきましては、社会情勢の変化や物価・人件費高騰などによる厳しい局面が続く状況下ではありますが、今後の貴社及び沿線自治体の持続的発展と貴社の経営安定化、利用者の更なる利便性向上を図るため、次とおり要望いたしますので、貴社の見解等を書面にてご教示いただきますようお願い申し上げます。

混雑緩和対策について

つくばエクスプレスの利用者数は、新型コロナウイルスの影響により、一時的に減少したものの、令和7年度（2025年度）上期の一日平均乗車人員は42万3千人となり、開業以来最高を更新しております。

沿線では、土地区画整理事業による住宅開発が堅調に推移し、今後も更なる人口増加が見込まれております。加えて、令和7年（2025年）3月に発表された貴社の中期経営計画においても、「コロナ禍前の水準に輸送人員が回復し、混雑率も増加傾向にある」と示されているように、混雑緩和は喫緊の課題となっております。

これを踏まえ、貴社では、2030年代前半の供用開始に向け、「車両編成の8両化」を推進していただいているところですが、現在も慢性的な混雑が続いているため、沿線自治体としては8両化の早期実現を強く要望いたします。

「車両編成の8両化」の実現は、混雑緩和の解消と安全かつ快適な輸送サービスの提供とともに、今後の定住促進に資するものであると期待しておりますので、より一層のご尽力をお願い申し上げます。

なお、「車両編成の8両化」が実現されるまでの間の混雑緩和対策として、ダイナミックプライシングやオフピーク定期券の導入などによる混雑の平準化についても併せてご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

令和8年1月19日

つくば市長 五十嵐 立青

守谷市長 松丸修久

柏市長 太田和美

流山市長 井崎義治

三郷市長 木津雅晟

八潮市長 大山忍

足立区長 近藤やよい

荒川区長 滝口学

台東区長 服部征夫

千代田区長 樋口高顕

つくばみらい市長 小田川 浩